

令和 7 (2025) 年度 広域科学専攻 修士課程 入学試験

相関基礎科学系 研究計画書作成要領

1. 総合文化研究科ホームページより、「相関研究計画書 様式」ファイル（Word ファイル）をダウンロードして用いること。社会人特別出願者の研究計画書も同じ様式を用いること。
2. 様式の「第一志望専門グループ」「第二志望専門グループ」欄には、A/B/C/D1/D2 の中からそれぞれ 1 つ選び記入すること（「第二志望専門グループ」は希望者のみ）。教員の所属グループについては、「令和 7 (2025) 年度広域科学専攻指導教員研究内容一覧」により確認すること。
3. 研究計画書の作成にあたっては、手書きまたは PC 等のどちらかを使用し、日本語または英語で作成すること。PC 等で作成する場合は、フォントは 10 ポイント以上とする。
4. 研究計画書の内容については、第一志望専門グループの指示（以下に記載）に従うこと。また様式内に、第二志望専門グループについても記載してよい。

A グループ

これまでどのようなことを勉強・研究してきたのか、大学院に入ってどのようなことを研究したいのかを記述してください。日本語の場合、1600 字以内、英語の場合、550 words 以内で記述すること（文献情報なども字数に含む）。

B グループ

志望する学問分野・研究課題に関して、これまでの自身の学習状況や検討状況、そして入学後、特に研究したいと考えている内容について記載すること。日本語の場合は 1200～1600 字（英語の場合は 600～800 words）で記述すること。ただし A4 用紙 2 枚以内に収めること。

C グループ

これまで勉強してきたこと、興味のある学問分野、これから研究してみたい事について、日本語の場合は合計 800 字程度、英語の場合は合計 400 words 程度で記述すること。

D1 グループ

これまで勉強してきたこと、興味のある学問分野、これから研究してみたい事について、日本語の場合は合計 800 字程度、英語の場合は合計 400 words 程度で記述すること。

D2 グループ

研究計画書の提出は求めない。

以上